

## 概要報告書

2019 年度

事業種別	広域安全事業
団体名	特定非営利活動法人 マザーハウス
事業名	刑事施設経験者が再犯しないための社会復帰支援プログラム
<p>当法人は、刑事施設経験者が自身の過去と向き合い、犯罪からの離脱を遂げて、より豊かな社会を生み出す力になれるようサポートすることを目的として活動しております。</p> <p>本事業では、「再犯しないためのサポート」に焦点を当て、中でも、①回復プログラム（対象者は、刑事施設収容者 700 名以上）、及び、②回復トレーニング（対象者は、刑事施設出所者 8 名）に力を入れました。</p> <p>刑事施設では、命令通りに過ごすことが良しとされるため、刑期が長い人ほど、「自分で考えて動く」力が著しく失われた状態で出所を迎えます。そのため、上記①②の実施にあたっては、特に、「自分で考えて動く」力を取り戻すことを重視しました。回復プログラムは、過去を振り返るための手助けとなるものですが、同時に、より深く「自分はどのような人間か」というテーマと向き合うことで、「今後はどのように生きたいか」を、自分で見つけていくための手助けにもなるものです。そして、回復トレーニングは、当法人にしながら、当法人の中に留まらずに、地域や社会へ積極的に入って行って、人々と交流をもつものです。社会では、刑事施設と違い、「自分はこの場合どのように動けばいいか、どのような役割を担えばいいか」という課題を常に意識する必要があります。事業期間を通して、回復トレーニングの参加者たちは、コーヒー販売や便利屋業に携わりながら社会の人々と関わり続け、トラブルや新たな課題が起こった場合には、自分たち自身で解決できるようなものは各自で考えて行動するようになりました。</p> <p>その他、「社会で、人とともに、助け合いながら生きる」ための一歩を踏み出しやすくなるよう、定期的なカウンセリングや当事者ミーティング、社会の支援者や研究者とともに意見を交わす研究会等の機会も設けました。</p> <p>今後も、刑事施設経験者が「二度と犯罪に関わらずに地域で人々と生きていく」ための適切なサポートを目指して、活動に尽力していきたいと考えております。</p>	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。